

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

 <p style="font-size: small;">富山グリーンフードリサイクル株式会社</p> <p style="font-size: small;">剪定枝等の堆肥化肥料</p>	<b>【施設名称】</b> 富山食品廃棄物リサイクル施設
	<b>【事業主体】</b> 富山グリーンフードリサイクル(株)
	<b>【所在地】</b> 富山県富山市
	<b>【運転開始年】</b> 平成 15 年(2003 年)
<b>原材料および利用量</b>	食品廃棄物 24.4 t / 日 剪定枝等 4,000 t / 年
<b>生産物(種類)</b>	バイオガス 450,000m <sup>3</sup> / 年 有機肥料 2,000 t / 年
<b>利用方法</b>	バイオガス：自社発電消費 有機肥料：緑地整備、地元生産法人等へ供給
<b>導入目的・経緯</b>	食品廃棄物等のリサイクルを行い、焼却処理等処分されるごみの減量、良質なたい肥を緑農地等へ還元する資源循環型社会の構築
<b>設備仕様</b>	メタン発酵処理施設(バイオガス化) 堆肥(土壌改良材)製造—スクープ式拡販機利用による高速発酵方式
<b>稼働状況</b>	24 時間 / 日、365 日 / 年
<b>経済性関連データ</b>	国補助「食品リサイクル施設先進モデル実証事業」730,000 千円 市補助「富山市エコタウン施設整備事業」14,600 千円 総事業費 1,460,000 千円
<b>導入効果</b>	事業系生ゴミの焼却処理量が削減され、資源循環型システム社会構築へ貢献。またバイオガス発生量(450,000m <sup>3</sup> /年)から年間 562,503kw の発電量生産が試算され、光熱費コスト削減効果が高い
<b>運営上の課題</b>	バイオガス利用による電力供給は施設内にとどまっており、効率的な活用ができていない
<b>備考・参考資料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H16 年度バイオマス活用協議会会長賞</li> <li>・ 平成 17 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例集</li> <li>・ 農林水産省 HP (先進的取組事例)</li> <li>・ 北陸農政局 HP (H17 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例、特定テーマ「バイオマスのエネルギー利用等の先進事例)</li> <li>・ バイオマス情報ヘッドクォーター</li> </ul>